

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【公開番号】特開2011-110130(P2011-110130A)

【公開日】平成23年6月9日(2011.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2011-023

【出願番号】特願2009-267025(P2009-267025)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月21日(2012.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種の絵柄を循環表示させる循環表示手段と、

前記絵柄の循環表示を開始させるべく操作される開始操作手段と、

役の抽選を行う抽選手段と、

前記絵柄の循環表示を停止させるべく操作される停止操作手段と、

前記役の抽選に当選した当選役と対応する当選絵柄が有効位置に所定の組合せを形成して停止したに基づいて、入賞成立として遊技者に特典を付与する特典付与手段とを備えた遊技機において、

前記役の抽選に用いられるとともに、前記役の抽選結果として、特定入賞を成立させることができる特定操作が異なる特定結果が複数生じる抽選情報を記憶する抽選情報記憶手段と、

前記停止操作手段になされた操作方法を把握する操作方法把握手段と、

前記操作方法把握手段の把握結果と対応する把握結果情報を記憶する把握結果情報記憶手段と、

第1特定期間を設定する第1特定期間設定手段と、

第2特定期間を設定する第2特定期間設定手段と、

回数情報を設定する回数情報設定手段と、

前記回数情報を記憶する回数情報記憶手段と、

前記各特定期間に前記役の抽選結果が前記特定結果のいずれかとなった場合、前記回数情報を記憶された回数情報に基づいて、前記特定操作又は前記特定入賞の成立を回避できる回避操作を示唆する示唆演出を実行する示唆演出実行手段と、

前記各特定期間に前記役の抽選結果が前記特定結果のいずれかとなり、前記役の抽選結果と対応する把握結果情報を前記把握結果情報記憶手段に記憶されている場合、前記回数情報を記憶された回数情報が実質的に多くなる特定特典を付与する特定特典付与手段とを備え、

前記回数情報を設定手段は、前記第1特定期間となる場合に第1回数を示す第1回数情報

を設定するとともに、前記第2特定期間となる場合に前記第1回数より少ない第2回数を示す第2回数情報を設定し、

前記特定特典付与手段は、前記第1特定期間である場合に第1特定特典を付与するとともに、前記第2特定期間である場合に前記第1特定特典よりも前記回数情報記憶手段に記憶された回数情報が実質的に多くなる度合いが大きい第2特定特典を付与し、

さらに、

遊技者の操作に基づいて前記第1特定期間と前記第2特定期間のいずれを設定するかを決定する決定手段を設けたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記特定特典付与手段は、前記役の抽選結果と対応する把握結果情報が前記把握結果情報記憶手段に記憶されている場合、前記回数情報記憶手段に記憶された回数情報に関わらず、前記示唆演出実行手段に前記示唆演出を実行させる特典を付与することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記役の抽選結果が前記把握結果情報記憶手段に記憶されている把握結果情報と対応する特定結果となることを含む特定条件が成立したか否かを判定する特定条件判定手段と、前記特定条件が成立した場合、規定特典を付与する規定特典付与手段とを備えたことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記特定条件判定手段は、前記各特定期間ににおいて最初に発生した特定結果が、前記把握結果情報記憶手段に記憶されている把握結果情報と対応する特定結果であった場合、前記特定条件が成立したと判定することを特徴とする請求項3に記載の遊技機。